

オプトアウト用公開文書

研究名称

バーチャルリアリティシミュレーターを用いた医学教育実習は解剖学的知識の増加に役立つか？

1. 研究の対象

2017年1月～2018年3月までの間に産婦人科で実習を行った近畿大学医学部の
2017年1月～3月の4年生と2017年4月～2018年3月の5年生 142名

2. 研究目的・方法

近年、外科領域において、内視鏡手術は生活の質の向上の観点から、今や良悪性問わずスタンダードになりつつあります。当科では1989年より腹腔鏡手術を導入し、現在6,000件以上の症例を行っています。その一方で、手術教育を行っていく上で臨床解剖の知識は必要不可欠なものですが、医学部学生において産婦人科の局所解剖の理解は乏しく、手術を行うにはまだ程遠いのが現状です。当科では、VR (Virtual Reality Simulators) を用いた手術実習を導入しました。欧米では、VRを用いたトレーニングが手術手技の習得には有用とされています。しかし、解剖の知識に関してVRを用いた実習が有用であるという報告は存在しません。今回、VR実習の導入によって医学部学生の解剖学的知識が向上したかどうかを検討します。

3. 研究実施期間

2020年2月26日から5年間

4. 研究に用いる情報の種類

医学部学生の下記の情報を評価表・VRを用いた実習前後の小テストより取得します。

- ・VRを用いた実習前後の小テスト結果
- ・性別
- ・VR実習参加の有無
- ・腹腔鏡下子宮全摘術の見学の有無

本研究は本学単独研究であり、他機関への情報提供は行いません。また、情報の二次利用は行いません。

5. 研究に管理について責任を有する者の氏名または名称

〈研究責任者〉近畿大学病院産婦人科 松村 謙臣

〈研究分担者〉近畿大学病院産婦人科 小谷 泰史

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申下下さい。

また、医学部生の情報が特定できる情報については削除され、匿名化されておりますが、あなたの情報を研究に利用する事を希望されない場合はお申し付け下されば情報利用する事を停止致します。情報利用を希望されなくても、あなたに不利益を被る事はありませんのでご安心下さい。

なお、本研究は近畿大学医学部倫理審査委員会の審査を受け、近畿大学医学部長の許可を受けて実施するものです。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

住所：大阪府大阪狭山市大野東 377-2

電話：072-366-0221 内線 3215

担当：近畿大学病院産婦人科 小谷泰史